



Junior Drive
Shiraishi Racing School

REPORT

報告書

9月16日（水）舞洲フォーミュラトレーニング

9 2026
Sep





29°C

Track
MAISHIMA

Driver
Sawa/Wada/Ishikawa

フルウェットコンディション

6期生の和田光ノ介（14）、石川大翔（13）、澤恒太郎（12）の3名がトレーニングに参加しました。この日は朝から大粒の雨が降り続き、1日を通してレインコンディションでのトレーニングとなりました。

恒例の朝の脱出訓練を終え、走行メニューがスタートしました。午前中はシフト操作とブレーキングの習熟を目的としたトレーニングを実施。直線区間を何度も往復しながら、基本操作の精度を高めていきました。6期生にとって今回が5回目のトレーニングとなり、3名ともに発進・停車やシフト操作といった基本動作の完成度が着実に向上してきました。

午後からは、決められたコースを走行するサーキットトレーニングへと移行しました。この日は大雨の影響でコース上に複数の水たまりができていたため、大きな水たまりを避ける新たなレイアウトを採用しました。滑りやすいコンディションの中、3名のドライバーは周回を重ねていきます。スクール車両にも十分に慣れてきており、マシンの挙動が限界域に達した際にも、車両をコントロールする技術が身についてきました。また、この日は6期生にとって初めてレインタイヤを装着しての走行となり、ウェットコンディションにおけるタイヤの特性や摩耗について学ぶ機会となりました。

レインタイヤはドライタイヤに比べてゴムが非常に柔らかく、タイヤを滑らせ続けると過度な発熱を招き、グリップ力の低下につながります。特に後輪は加速時にホイールスピンが発生しやすく、3名ともに適切なトラクションを確保することに苦労していました。

終盤にはさらに雨脚が強まり、摩耗が進んだレインタイヤでの走行は危険と判断し、予定していたタイムアタックを中止しました。それでも、グリップ力が低下した難しいコンディションの中で、3名全員がウェット路面でのドライビングスキルを学ぶことができ、非常に有意義なトレーニングとなりました。



DRIVERS PERFORMANCE

Kotaro - SAWA (12) Maishima

急激に身長が伸び始めた小学6年生の澤。成長に伴うドライビングポジションの変化に適応するのが難しい時期ですが、うまく対応できており、スピード面でも成長が見られます。シフト操作やブレーキングも鋭さを増してきており、今後はタイヤのグリップを感じ取り、それを的確にステアリング操作へ反映させる技術を習得していきたいところです。



Yamato - ISHIKAWA (13) Maishima

基本操作を着実に習得してきた石川。6期生の中ではシフト操作に最も苦戦していましたが、ここにきてようやく他の2名と遜色のないレベルまで成長してきました。基本操作の精度も高まってきたことから、今後はラップタイムを意識した走行に取り組み、ドライバーとしての純粋なスピードをさらに高めていきたいところです。



Konosuke - WADA (15) Maishima

基本操作をマスターし、走りにメリハリが出てきた和田。ここからは、さらなるスピードアップが求められます。現時点での走りが彼の実力のすべてではなく、まだまだ大きな伸びしろを残しています。今後は現状に満足することなく、より貪欲に速さを追求し、ドライバーとしてさらなる成長を遂げてもらいたいです。





Junior Drive
Shiraiishi Racing School



舞洲スポーツアイランド



GARAGE38
Luce ed ombra

FTK corporation



PAINT BY
O·N·O.inc

III River inc.



Junior Drive
Shiraiishi Racing School

